

卓話

平成 29 年 4 月 11 日

『 JAZZについて 』 —音で聴きながら学ぶジャズ—

長井義夫会員

ジャズの歴史と年代ごとの特徴について

・ジャズとは

インプロビゼーション (即興音楽・アドリブ) その場でまったく新しく曲を作りながら演奏することから、一定の主題、旋法、音型や和声のパターンに基づき即興演奏する。

■特徴 シンコペーション 掛け合い テンションノート

■12音階 ドレミ CDE # b

スケール メジャースケール マイナースケール (2種)

■コード=和音 2音以上の音

C C△7C 7C C6 C (5#) C9 C (b9) C (#9) C13 C+4

Cm Cm△7 Cm7 Cm6 Cm7b5 Cm9

■ハーモニー

例C13 ベース1・5 ピアノ左手3・△7

右手 9・13 ギター3・△7・9・13

例C (#9) ベース1・5 ピアノ左手3・7b

右手9# ギター3・7b・9#

■モード

イオニアン ドリアン フィリジアン リディアン ミクゾリディアン エオリアン ロクリアン
ペンタトニック ブルーノート HP5 ディミニッシュスケール

■テクニック

トライトーン (例ミ+シb) ダイアトニックコードと裏コードに使用

ブルーノート (ディミニッシュ) 短三展開

■ケーデンス

トニック I度 (Im) サブドミナント IV度 (IVm)

ドミナント V7度 (V7) (3つのコード)



・ジャズの歴史

■1930年

ニューオリンズ発祥の地 アフリカ音楽 デキシーランドジャズ

※聖者の行進 ※What a Wonderful World ルイ・アームストロング

ミシシッピ川下流から上流へ メンフィス セントルイス シカゴ スイングジャズへ変化

特徴 4ビート 3コード I-IV-V7 ブルースへ徐々に変化

変化 シカゴブルース ロック、ブルース、ジャズ (ブルースとロックの融合へ)

特徴 8ビート 3コード 12小節 ブルース ブルーノートスケール

マディー・ウォータース チャックベリー →影響 ロックバンド:エルビス・プレスリー、ビートルズ、グループサウンズ

■1940年

モダンジャズ ビバップ ハードバップ (私が考える全盛期)

チャーリー・パーカー (Sax) チャーリークリスチャン (G) マイルス・デイヴィス (Tp)

渡辺貞夫 (バークリー卒) ポストン ルータバキン&秋吉敏子

※チャーリー・パーカーは今でもジャズの伝説の人といわれており、昔、音楽仲間からバードといわれていました。あの有名なニューヨークのバードランドはチャーリー・パーカーのために作られたジャズのお店です。

※ストレート・ノー・チェイサー ナウ・ザ・タイム バグス・グルーヴ コンファメーション

特徴 4ビート 32小節 ブルース

複雑なコード展開へ発展 (II m7—V7 : V7-V7)

裏コード 代理コード 経過音 パッシングコード (II m7 (b 5)) — V7)

■1950年

モードジャズ ロックジャズ (ハービーマン:メンフィス アンダーグラウンド)

マイルス・デイヴィス (Tp) ジョン・コルトレーン (Sax) ウォーターメロンマン (ハービー)

パストラル (渡辺貞夫) ハービー・ハンコック (Pf)

ウェス・モンゴメリー (G) オクターブ奏法 (G演奏者に強い影響)

※So What マイルストーン 処女航海 ドリアンモード (サマータイム)

特徴 モード展開 分数コード 自由な展開 フリージャズへ発展

山下洋輔 (Pf) 中村誠一 (Sax) 坂田明 (Sax)

■1960年

ブラジリアン音楽

アントニオ・カルロス・ジョビン アストラッド・ジルベルト 渡部貞夫 (強い影響を受ける)

※メディテーション イパネマの娘 コルコバード WAVE

特徴:リズム ボサノバ サンバ サルサ レゲエ ラテンのリズムへ発展

■1970年

フュージョン ロック ラテン ジャズの融合

パット・メセニー ジョージ・ベンソン リー・リトナー デイヴ・グルーシン

カシオペア プリズム Tスクエア イエロー・マジック・オーケストラ

プレイヤーズ (タモリ番組) 松岡直也

特徴 サンバ・ラテン・モード・ロック・バップの融合

■まとめ

難しい話だったと思いますが、ジャズは聴いて楽しければ良いと思います。